

【 C 図形 教材の系統表 】低学年

学年		1年生	
学期		2 学期	3 学期
単元		かたちあそび	かたちづくり
ねらい		身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形についての理解の基礎となる経験や感覚を豊かにする。	身の回りにあるものの形を観察したり構成したりするなどの活動を通して、平面図形について理解の基礎となる経験や感覚を豊かにする。
学ばせたいこと	中心となる考え	○身の回りの具体物の外形をとらえ、形を抽象し概形や機能、特徴から分類する。 ○立体図形を構成する面の形に着目する。	○図形の合成、分解、回転移動、対称移動、平行移動。 ○形の合成、分解、共通性。 ○中詰図形・中空図形の輪郭(直線や頂点)に着目し、同じ図形であるにとらえる。
	用語		
関連教材		1年 「かたちづくり」 2年 「三角形と四角形」 「はこの形」 3年 「円と球」 「三角形」	2年 「三角形と四角形」 「はこの形」 3年 「円と球」 「三角形」
意識させるキーワード		○しかく、さんかく、まる ○～のかたち	○合体、わけっこ、回す、裏返す、ずらす ○四角、三角、長四角、真四角
筋道を立てて説明する		身の回りの具体物から形を抽象し、立体図形の特徴をとらえて仲間分けをし、具体物を使って説明することができる。 立体図形の面を写し取って絵を描き、できた絵について具体物を使って説明することができる。	図形の輪郭に着目して合成されている基本図形を見つけ、絵や具体物を使って説明することができる。 三角や四角の角の数について気がついたことを、挿絵を使って説明することができる。
まろごと活用			
その他			